

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

平成 29 年 2 月 15 日

理事長 松山 良一

訪日外客数(2017 年 1 月推計値)

◇ 1 月 : 前年同月比 24.0%増の 229 万 6 千人

- 2017 年 1 月の訪日外客数は、前年同月比 24.0%増の 229 万 6 千人。2016 年 1 月の 185 万 2 千人を 44 万人以上上回り、1 月として過去最高となった。また、単月としては 2016 年 7 月 (2,296,451 人) に僅差で迫り、過去 2 番目の記録となった。

本年は、旧正月休暇が 1 月末から始まったため、中華圏の国や地域を中心に訪日旅行者数が増加した。また、航空路線の新規就航・増便、クルーズ船寄港数の増加、そして、これまでの継続的な訪日旅行プロモーションも、引き続き訪日旅行者数の増加を後押しした。

- 市場別では、韓国と豪州が単月として過去最高を記録した他、ロシアを除く 17 市場が 1 月として過去最高となった。特に、マレーシアは 70%台、インドネシアは 60%台と年初から非常に高い伸びを示した。
- 2 月は、本年の場合、多くの市場で旧正月休暇が終わっているため、訪日旅行者数の伸びの勢いは緩やかになると考えられる。しかし、昨今、ウィンタースポーツや雪遊びなどを目的とした訪日や、クルーズ需要も増えており、かねてからの訪日旅行プロモーションの効果と相まって、訪日需要を下支えするものと期待される。

- * 月別推計値と 2003 年以降の訪日外客数は、下記リンク「訪日外客数の動向」内からダウンロードできません。

http://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/visitor_trends/index.html

「月別推計値 (Excel)」、 「国籍/月別 訪日外客数 (2003 年~2017 年) (PDF・Excel)」

- * 最新の市場動向トピックス

http://www.jnto.go.jp/jpn/inbound_market/report.html

- ※ 1 月のトピックスは 2 月末頃に掲載予定

お問い合わせ先：
インバウンド戦略部 調査・コンサルティンググループ
TEL：03-6691-3891

平成29年 訪日外客数・出国日本人数

2017 Visitor Arrivals & Japanese Overseas Travelers

日本政府観光局(JNTO)
Japan National Tourism Organization (JNTO)

平成29年2月15日
15/Feb/2017

(単位:人 / Unit: Persons)

月 Month	訪日外客数 Visitor Arrivals			出国日本人数 Japanese Overseas Travelers		
	平成28年 2016	平成29年 2017	伸率 Change %	平成28年 2016	平成29年 2017	伸率 Change %
1 Jan.	1,851,895 (1,579,364)	*2,295,700	*24.0	1,276,297	*1,300,000	*1.9
2 Feb.	1,891,375 (1,670,948)			1,330,972		
3 Mar.	2,009,549 (1,726,360)			1,550,637		
4 Apr.	2,081,697 (1,825,694)			1,249,586		
5 May	1,893,574 (1,640,187)			1,233,170		
6 Jun.	1,985,722 (1,773,111)			1,271,146		
7 Jul.	2,296,451 (2,069,994)			1,435,758		
8 Aug.	2,048,587 (1,801,734)			1,818,332		
9 Sep.	1,918,246 (1,631,531)			1,552,705		
10 Oct.	2,135,905 (1,848,154)			1,462,741		
11 Nov.	1,875,404 (1,617,057)			1,479,592		
12 Dec.	*2,050,600			1,455,368		
1~1 Jan.-Jan.	1,851,895 (1,579,364)	*2,295,700	*24.0	1,276,297	*1,300,000	*1.9
1~12 Jan.-Dec.	*24,039,000			17,116,304		

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2：訪日外客数のうち、2016年1月-11月は暫定値、*部分は推計値である。

◆注3：訪日外客数及び*印の出国日本人数は法務省資料を基にJNTOが算出し、それ以外の出国日本人数は法務省資料を転記した数値である。

◆注4：訪日外客とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客数には乗員上陸数は含まれない。

◆注5：()内は、総数のうちの観光客数である。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. The figures for Visitor Arrivals (Jan.-Nov. 2016) are provisional, while * stands for the preliminary figures estimated by JNTO.

◆Note 3. Provisional and definitive figures for Visitor Arrivals are compiled by JNTO [source: Ministry of Justice], and provisional and definitive figures for Japanese Overseas Travelers are provided by the Ministry of Justice.

◆Note 4. The figures in () represent the number of tourists among the total.

2017年1月 訪日外客数 (JNTO推計値)

Visitor Arrivals for Jan. 2017 (Preliminary figures by JNTO)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2016年 1月	2017年 1月	伸率(%)	2016年 1月～1月	2017年 1月～1月	伸率(%)
総数	Grand Total	1,851,895	2,295,700	24.0	1,851,895	2,295,700	24.0
韓国	South Korea	514,889	625,400	21.5	514,889	625,400	21.5
中国	China	475,116	630,600	32.7	475,116	630,600	32.7
台湾	Taiwan	320,963	350,800	9.3	320,963	350,800	9.3
香港	Hong Kong	125,012	185,500	48.4	125,012	185,500	48.4
タイ	Thailand	61,115	65,200	6.7	61,115	65,200	6.7
シンガポール	Singapore	15,086	20,400	35.2	15,086	20,400	35.2
マレーシア	Malaysia	19,843	34,500	73.9	19,843	34,500	73.9
インドネシア	Indonesia	13,735	22,500	63.8	13,735	22,500	63.8
フィリピン	Philippines	18,847	26,400	40.1	18,847	26,400	40.1
ベトナム	Vietnam	14,792	21,600	46.0	14,792	21,600	46.0
インド	India	9,637	10,100	4.8	9,637	10,100	4.8
豪州	Australia	56,075	61,100	9.0	56,075	61,100	9.0
米国	U.S.A.	75,909	88,200	16.2	75,909	88,200	16.2
カナダ	Canada	17,681	22,600	27.8	17,681	22,600	27.8
英国	United Kingdom	17,616	20,800	18.1	17,616	20,800	18.1
フランス	France	12,077	14,400	19.2	12,077	14,400	19.2
ドイツ	Germany	9,659	10,300	6.6	9,659	10,300	6.6
イタリア	Italy	5,149	5,600	8.8	5,149	5,600	8.8
ロシア	Russia	4,257	4,300	1.0	4,257	4,300	1.0
スペイン	Spain	3,017	3,700	22.6	3,017	3,700	22.6
その他	Others	61,420	71,700	16.7	61,420	71,700	16.7

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2：訪日外客数(訪日外国人旅行者数)は、法務省の出入国管理統計からJNTOが独自に算出した数値である。

◆注3：2016年の数値は暫定値、2017年の数値は推計値である。

◆注4：訪日外客とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。
なお、上記の訪日外客数には乗員上陸数は含まれない。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

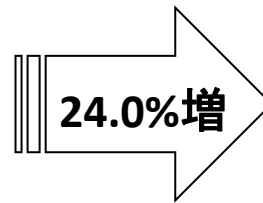
◆Note 2. Visitor Arrivals are compiled by JNTO (source: Ministry of Justice).

◆Note 3. Above figures for 2017 stand for the preliminary ones estimated by JNTO.

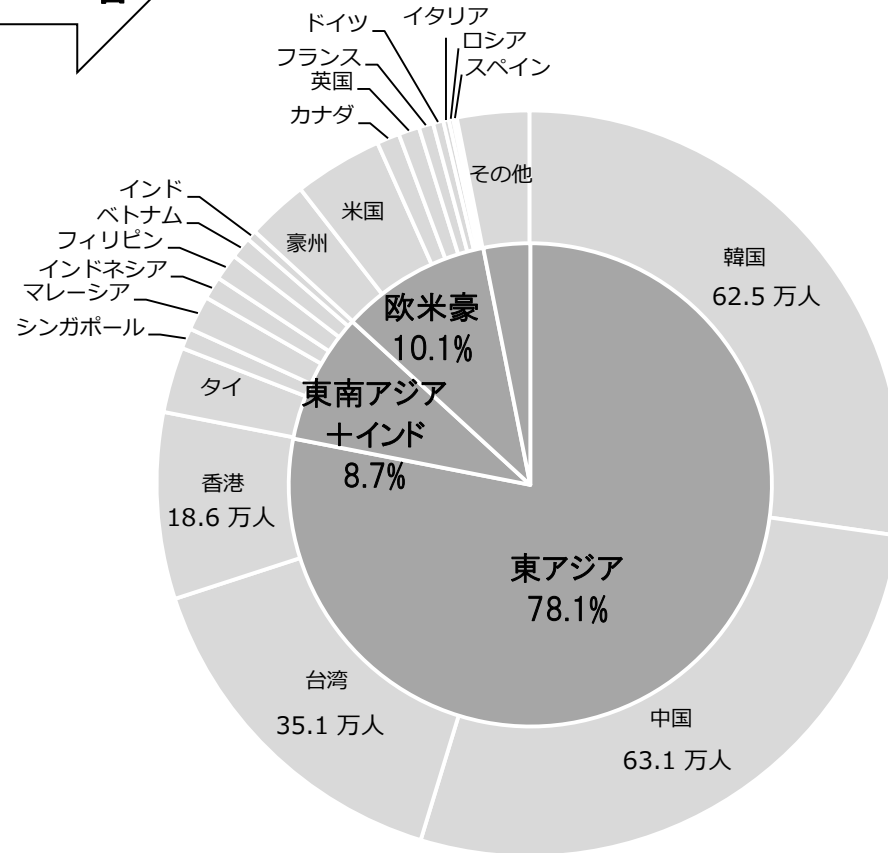
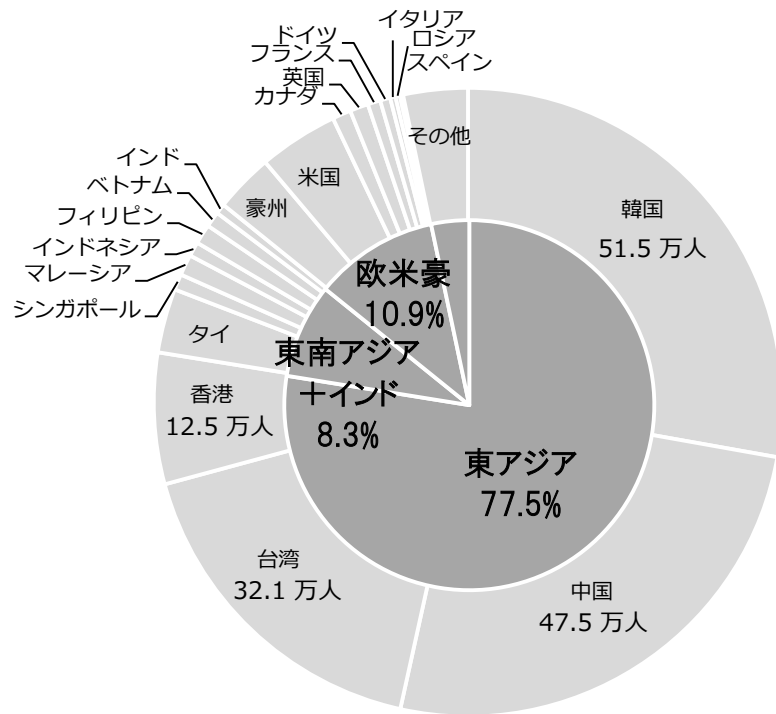
訪日外客数のシェアの比較

2016年/2017年

2016年1月
185万2千人



2017年1月
229万6千人



地域別訪日旅行市場の概況

1. アジア

① 東アジア

- **韓国**は、前年同月比 21.5%増の 625,400 人で、単月として過去最高を記録。前年は 2 月にあった旧正月(ソルラル)休暇が本年は 1 月に移行したことや、複数の航空路線が増便されたことなどが 1 月の訪日者数を押し上げた。韓国の海外旅行商品販売サイトと共に訪日旅行プロモーションを実施し、格安航空会社(LCC)路線の就航先を中心に地方都市の PR や旅行商品の販売促進などを行ったことも、訪日意欲の喚起に貢献した。
- **中国**は、前年同月比 32.7%増の 630,600 人で、1 月として過去最高を記録。前年は 2 月にあった旧正月(春節)休暇が本年は 1 月に移行し、その前後期間を含め、訪日者数が増加した。また、春節期間のチャーター便運航による航空座席供給量の増加や、旺盛なクルーズ需要も訪日者数の押し上げに寄与した。加えて、昨年 12 月に実施した現地旅行会社との共同プロモーションも訪日意欲を喚起した。
- **台湾**は、前年同月比 9.3%増の 350,800 人で、1 月として過去最高を記録。前年の復興(トランスアジア)航空の解散に伴うツアーキャンセルのほか、航空座席供給量減少による航空券の値上がりや伸び悩みの要因となり、引き続き 1 桁の伸びに留まった。そのような中、前年は 2 月にあった旧正月(春節)休暇が本年は 1 月末に移行し、休暇期間を利用した訪日需要が 1 月の訪日者数を押し上げた。
- **香港**は、前年同月比 48.4%増の 185,500 人で、1 月として過去最高を記録。前年は 2 月にあった旧正月休暇が本年は 1 月に移行したことにより、訪日者数が大幅に増加した。これまでの増便等により航空座席供給量が前年比で約 2 割増加したことなども訪日需要の増加に寄与した。また、冬の魅力を訴求するウェブ広告や LCC とのキャンペーンなどの訪日旅行プロモーションも、訪日意欲の喚起に貢献した。

② 東南アジア

- **タイ**は、前年同月比 6.7%増の 65,200 人で、1 月として過去最高を記録。昨年 10 月の前国王崩御を受け、1 月発の訪日旅行商品の購入時期に新規旅行予約の自粛傾向も見られたが、旅行会社との共同広告、メディアミックスによる広告宣伝、旅行博の開催などにより訪日意欲の喚起を図った結果、前年比で増加となった。
- **シンガポール**は、前年同月比 35.2%増の 20,400 人で、1 月として過去最高を記録。昨年 1 年間にわたって実施した日星外交関係樹立 50 周年(SJ50)事業の効果が、訪日需要の安定的な増加に貢献した。また、前年は 2 月にあった旧正月休暇が本年は 1 月に移行したことも、訪日者数の増加に影響したものと考えられる。
- **マレーシア**は、前年同月比 73.9%増の 34,500 人で、1 月として過去最高を記録。前年は 2 月にあった旧正月休暇が本年は 1 月に移行。メディアミックスによる広告掲載や旅行博「Japan Travel Fair」への出展など、冬のピークシーズンに向けて集中的に展開した訪日旅行プロモーションの効果と相まって 70%を超える大幅な伸びに結び付いた。また、航空座席供給量の増加も後押しとなった。
- **インドネシア**は、前年同月比 63.8%増の 22,500 人で、1 月として過去最高を記録。トラベルフェア等で販売された低価格な航空券の売れ行きが堅調であったことも訪日需要の増加に

繋がった。また、人気旅行番組の北海道への招致や、SNS での北関東エリアの紹介など、冬シーズンをターゲットにした訪日旅行プロモーションも訪日意欲を後押しした。

- フィリピンは、前年同月比 40.1%増の 26,400 人で、1 月として過去最高を記録。例年 1 月はクリスマスの長期休暇直後にあたるため、外国旅行はオフシーズンとなるが、冬の訪日需要喚起を狙い、メディアや旅行会社を関東や九州に招請したほか、キャンペーンサイトを用いた情報発信等の訪日旅行プロモーション、航空会社のセールスプロモーションなどが訪日需要を後押しし、好調に推移した。
- ベトナムは、前年同月比 46.0%増の 21,600 人で、1 月として過去最高を記録。前年は 2 月にあった旧正月(テト)休暇が本年は 1 月に移行し、訪日者数を押し上げた。また、ベトナム航空の増便に伴う座席供給量の増加や、冬の訪日需要喚起を狙い、昨年より複数の旅行会社と連携して実施しているキャンペーンも追い風となった。
- インドは、前年同月比 4.8%増の 10,100 人で、1 月として過去最高を記録。例年 1 月は外国旅行のオフシーズンであるため、緩やかな伸びとなった。加えて、昨年 11 月に実施された旧高額紙幣の無効化・新紙幣導入を背景とした予約のキャンセルや渡航延期、新規申し込みの減少なども、訪日者数の伸びに影響したと考えられる。そのような中、現地の旅行会社や航空会社との共同広告などにより日本の露出を強化し、訪日意欲の喚起に努めたことが訪日需要を下支えした。

2. 豪州、北米

- 豪州は、前年同月比 9.0%増の 61,100 人で、単月として過去最高を記録。日本国内の宿泊施設の料金高騰などに伴い、旅行費用が前年に比べ高くなっているものの、ウィンタースポーツを目的とした訪日需要や、航空会社の新規就航などが追い風となり、堅調に推移した。訪日旅行プロモーションとしては、現地メディアやインフルエンサーの招請、日本文化イベントへの出展などにより、訪日意欲の喚起を図った。
- 米国は、前年同月比 16.2%増の 88,200 人で、1 月として過去最高を記録。クリスマス休暇直後の 1 月は、例年、外国旅行のオフシーズンとなるが、底堅い米国経済やアジアへの渡航者数の増加傾向を背景に堅調に推移した。また、大手メディアで日本が取り上げられるなど、各種媒体における日本の露出増加も、訪日需要を後押ししていると考えられる。
- カナダは、前年同月比 27.8%増の 22,600 人で、1 月として過去最高を記録。前年は 2 月にあった旧正月休暇が本年は 1 月に移行し、それに合わせて多くの中華系カナダ人が訪日したことも 1 月の訪日需要を押し上げた。また、共同広告としてのラジオ CM やメディア招請の成果としてのテレビ番組が放映されるなど、訪日旅行プロモーションによる日本の露出増加も訪日意欲を喚起し、好調な伸びに結び付いた。

3. 欧州

- 英国は、前年同月比 18.1%増の 20,800 人で、1 月として過去最高を記録。例年、冬季は訪日旅行のオフシーズンとなるが、昨秋以降の大規模な広告宣伝の結果、訪日への関心が高まっていることや、比較的低廉な航空券が販売されていることが訪日需要の押し上げに寄与した。また、冬季の訪日需要喚起と訪日旅行の割高イメージの払拭を狙い、オンライン・トラベル・エージェント(OTA)や航空会社と連携して実施した価格訴求型の広告も訪日意欲の喚起に繋がったと考えられる。
- フランスは、前年同月比 19.2%増の 14,400 人で、1 月として過去最高を記録。例年 1 月は訪日旅行のオフシーズンとなるが、航空券の値下がりや日系航空会社との共同広告の効果もあ

り、堅調に推移した。また、昨年 12 月には、有名ガイドブックと連携して東北地方のウェブガイドを公開するなど、地方への誘客に向けた取り組みを強化しており、今後の訪日意欲の喚起に貢献するものと期待される。

- **ドイツ**は、前年同月比 6.6%増の 10,300 人で、1 月として過去最高を記録。オフシーズンの需要喚起を目的に実施した航空会社との共同広告の効果もあり、個人旅行(FIT)を中心に堅調に推移した。同市場では、新たなブランドコンセプトに基づく広告キャンペーンを昨年 11 月より集中的に展開しており、今後の訪日需要増加が期待される。
- **イタリア**は、前年同月比 8.8%増の 5,600 人で、1 月として過去最高を記録。日系航空会社との共同広告や旅行博への出展、セミナーの開催など、継続的な訪日旅行プロモーションが訪日意欲を喚起し、堅調に推移した。
- **ロシア**は、前年同月比 1.0%増の 4,300 人であった。前年 11 月末に決定された S7 航空の航空運賃の値下げが 1 月より開始されたことも増加要因となり、訪日者数は前年をわずかに上回った。なお、1 月からの訪日ロシア人に対するビザ発給要件の緩和が決定しており、今後の訪日需要を後押しすることが期待される。
- **スペイン**は、前年同月比 22.6%増の 3,700 人で、1 月として過去最高を記録。スペイン経済の回復や昨年 10 月のイベリア航空の直行便就航に加え、日系航空会社との共同広告が訪日意欲を喚起し、安定した訪日需要を創出した。